

PRESS RELEASE

2016年1月29日
株式会社三菱総合研究所

2015年10-12月期 GDP 1次速報予測

株式会社三菱総合研究所（代表取締役社長 大森京太 東京都千代田区永田町二丁目10番3号）は、内閣府より2月15日（月）に公表予定の2015年10-12月期のGDP速報（1次QE）について予測を行った。

2015年10-12月期	実質 GDP	季節調整済前期比	▲0.2%	（年率 ▲0.6%）
	名目 GDP	季節調整済前期比	▲0.1%	（年率 ▲0.4%）

2015年10-12月期の実質GDPは、季節調整済前期比▲0.2%（年率▲0.6%）と予測する。消費を中心とする内需の落ち込みを背景に、再びマイナス成長となる見込み。

消費は、10-12月期の気温が平年よりも高く推移したことから、冬物衣料や灯油など季節商品が不調であったほか、自動車をはじめとする耐久消費財も引き続き不振であり、前期比マイナスを予測する。住宅投資は、着工件数がやや落ち込んでおり4四半期ぶりのマイナスとなろう。設備投資は、非製造業を中心とする能力増強投資の増加などから2四半期連続の増加を見込む。

輸出は、米国向けの堅調に加え、低調に推移してきたアジア向けが緩やかながらも持ち直しつつあり、小幅増加を予想する。輸入は、内需の不振を背景に、小幅減少を予想する。

表 2015年10-12月期 GDP 速報 予測結果

単位：断りがない限り 季調済前期比（%）		2015年			
		1-3月期 実績	4-6月期 実績	7-9月期 実績	10-12月期 予測
実質GDP		1.1	▲0.1	0.3	▲0.2
	季調済前期比年率	(4.4)	(▲0.5)	(1.0)	(▲0.6)
民間最終消費		0.3	▲0.5	0.4	▲0.4
民間住宅投資		2.0	2.5	2.0	▲0.6
民間企業設備投資		2.7	▲1.3	0.6	0.9
民間在庫	寄与度	0.5	0.3	▲0.2	▲0.1
政府最終消費		0.2	0.4	0.3	0.3
公的固定資本形成		▲2.0	3.3	▲1.5	▲2.9
財・サービス輸出		1.9	▲4.3	2.7	0.4
財・サービス輸入		1.7	▲2.6	1.7	▲0.3
内需	寄与度	1.1	0.1	0.1	▲0.3
民需	寄与度	1.1	▲0.1	0.2	▲0.2
公需	寄与度	0.0	0.2	0.0	▲0.1
外需	寄与度	▲0.0	▲0.2	0.1	0.1
名目GDP		2.0	0.2	0.4	▲0.1
	季調済前期比年率	(8.4)	(0.6)	(1.6)	(▲0.4)
GDP デフレーター	前年同期比	3.3	1.5	1.8	1.3
国内需要 デフレーター	前年同期比	1.4	0.0	0.0	▲0.2

注：既発表の実績値についても季節調整等に伴う遡及改定が行われる。
表中の実績値は、2015年7-9月期2次QEに基づく。シャドー部分が今回の予測値。
資料：実績は内閣府「国民経済計算」、予測は三菱総合研究所。

《本件に関するお問合せ先》

株式会社 三菱総合研究所 〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目10番3号
政策・経済研究センター 森重彰浩 坂本貴志 電話：03-6705-6087 FAX：03-5157-2161 E-mail：morisige@mri.co.jp
広報部 上岡 瀬戸口 電話：03-6705-6000 FAX：03-5157-2169 E-mail：media@mri.co.jp
尚、本資料は、内閣府記者クラブに配布致します。